

2021年
1月

市民公募委員サロンだより

令和2年度市民公募委員サロンを開催しました！

開催目的

- ・各会議で市民公募委員の積極的な発言が増え、市政への参加意欲が一層高まるよう市民公募委員が自身の役割を学ぶとともに、様々な委員と交流して意見交換を行う。
- ・市民参加推進フォーラム委員が、他の附属機関等の公募委員の実情を理解する。

対象

京都市の附属機関等で市民公募委員として就任している皆様

日時

令和3年1月22日（金） 18：45～20：15

場所

オンライン会議システム「Zoom」 **初** オンライン開催♪

内容

- 18：45 開会，趣旨説明
- 18：50 チェックイン（自己紹介，期待や話したいこと）
- 19：10 インプットスピーチ（地方自治と市民・公募委員）
- 19：20 ワールドカフェ1（少人数グループで意見交換）
- 19：40 ワールドカフェ2（少人数グループで意見交換）
- 20：00 全体共有，チェックアウト，閉会



参加者

- ・市民公募委員 11名
- ・市民参加推進フォーラム委員 8名
- ・市民参加推進フォーラム事務局 3名

22名

※ 市民参加推進フォーラム：京都市の市民参加を推進する附属機関

フォーラム委員によるインプットスピーチ「地方自治と市民・公募委員」



乾 明紀 氏

市民参加推進フォーラム委員
京都光華女子大学 准教授

行政も市民も様々な課題を自覚しつつ、よりよい（良い・善い）地方自治の実現に向け、質と量の向上を目指して挑戦し続けることが大切ですね。

自治の意味や公募委員の意義がよく分かりました！



これからの地方自治と市民参加

住民自治

- ・地域のことは、地域の市民が自己の意思・責任に基づいて治めること

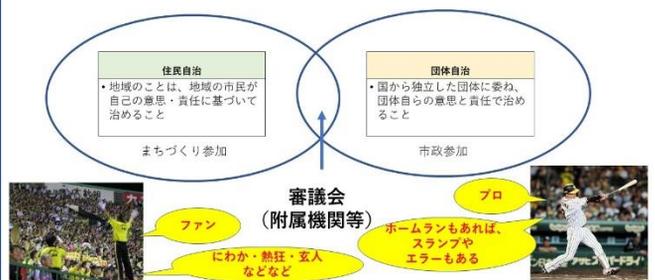
団体自治

- ・国から独立した団体に委ね、団体自らの意思と責任で治めること

まちづくり参加の推進

市政参加の推進

私の“審議会（附属機関等）への参加イメージ”



意見交換

4つのグループに分かれて、ワールドカフェ形式により、この場に期待していること・話したいことをテーマに、途中でメンバーを替えながら意見交換を行いました。



グループ毎に意見交換

公募委員になったきっかけや公募委員の役割など、活発な意見交換になりました！

グループ①

アウェイ感!
自分の立場の視点を遠慮なく話すようにしています!

入って見ると聞いていた話と違っていた場合もある

会議の目的が伝わらない

学生が経験しているのはどうもいい

学生で委員になるのはすごい!

色々な場面に参加していきなさい

大人の中、会議の場に混ざる経験

公募委員は京都の専門家ではない視点を提供できると思う

市民に分らない意味がないので、一市長の目標で意見を言う意味

公募委員になったきっかけ

色々な専門家の意見がきける

準備は必要?

行政の用意した資料がかりにあればそれを理解することによっての意見

準備は必要?

専門委員と公募委員の年齢の違いによる差

気軽さと責任のバランス

女性が入ってほしいという行政の意図も...

京都のことを知ってほしい

グループ②

乾先生のおっかけ

北区で市役所でお会いして、WS参加

コロナでなかったら、12月で初めて。何を言っていたらいい?

5か年計画、最初何をしてののか、わからなかった。反復は高層ビルが向いていない。

いい人材をつなごうという提案

政策につながる、よくなる

地域を支える企業が元気にならない

乾先生のおっかけ

後者がすべて共通で通う

他の団体のものを共有する仕組みがサロンにあるのはじめて知った。

はじめての紹介、情報共有が難しい

各団体の応募を事前に審査で確認できず、山科を盛り上げる内容を協議

協議というより結果を共有する場だった。議論ができなかった

話し合いというより一言

話し合いというより一言

東山、無難者が多いので、まじのコミュニケーションづくり

Zoom初めで。公募委員も初めて

顔をみて会えたかった

政府が上で、市民が下?の感

健康長寿以外とは行き来なくて

主幹が多くなって、これという意見が出てこない

コロナのときのイベント企画

夢を与えられる企画をした方が

高層ビルは責任が重くて企画も、でも小さくてもやり続けることという意図

何を言ったらいいかわからない。コロナではない、気づいたことを

なんなのというのか、それが。それが公募委員の責任でもある

会議は1回しかなかったけど、夢はある意見、意見出し人は少なかった

聞かない人、どう巻き込むのか?

面白い、大学が4つ。そこから出てこれる。若い人と関わりたい

コロナで協力者が生まれている

小さくてもやり続ける!

グループ③

委員が自分のところから公募委員、公募初めに無知だった、アウェイ感がある

地域住民のおもいがまちづくり(基本計画)に反映しないと

フォーラム、発言させてくれる。なんでもアウェイ感があるのか、わからない。

「学区」は、京都のキーワード

「地域」ってどの範囲を指す?

行政単位の最小単位は「学区」

大きな単位よりも小さな単位の方が話せる、自立しているから、話を聞かなくていいから、話を聞かなくていいから、話を聞かなくていいから

住んでいる所の課題に取り組んでいる。色んな手が大変。解決に向けて色んなことをしたい。

オンラインで話せる方が多いが、集まって話せる方が多い

オンライン機器守、使える年代が広まった

純粋な公募は少数?

結果的に話の動きに動いていきたいと思うようになった。

西さん健康的に体動かさなくなりました。

コロナ禍で身体が動かさなくなりました。

バランスボールで今も運動している

グループ④

感想

大変勉強になりました。自治の活発な。色々とよくわかった。

今の協議は内容が濃い。これから色んな役割を回すのかが分かった。より良い方向に変わるのかもしれない。

企画することが悪くなっていく。夢をもって企画したい。

政治的な責任をとるの嫌な。何もなし。責任を押しつけてくる。本来の協議は悪いと言われる。

大案動議になりました。自治の活発な。色々とよくわかった。

大学も課外活動かできない。丁寧なコミュニケーションが必要。

ウィズコロナ時代の夢のあることを行っていること。

専門家の中で公募委員の立ち位置

若い女性の立場でもっと色んな意見がほしい

それぞれの立場で意見をしっかりと!

抹茶着物カフェ

職員の推薦で

公募の経緯

職員に声をかけられた方が多数?

抹茶、着物に親しみやすい環境をつくる

区に地域産業を支える部署がないのが残念!

基本計画の策定時期意見を出して、協働?

「市民公募委員サロン」アンケート結果

参加の動機

- ・ 昨年、初めて参加して楽しかったから。
- ・ 何か情報を得られる機会になると思ったから。
- ・ 区役所から連絡いただき、興味を持ったから。
- ・ 他にどのような公募委員があり、それぞれが現場でどんな感想や、困りごとが発生しているのかを京都市単位で知れると思ったから。

参加後の心境の変化や抱負

- ・ 今回の体験を踏まえて、次も参加したい。
- ・ どんなむずかしい話になるのか不安だったが、皆さんが優しく、ホッとした。
- ・ 短い時間でも色々な話を聞き、よい刺激になった。他の委員の肩書に臆せず、意見を述べていきたい。
- ・ 今まで以上に地域と関わりを持とうと、改めて思った。積極的に市民代表として意見を言いたい。

参加して良かった点

- ・ 乾先生の話が分かりやすく、大変よく理解できた。
- ・ 市民公募委員にも、それぞれに色々な立場があることを理解することができた。
- ・ 少しでも思いを聞いてもらえて良かった。
- ・ 様々な公募委員の声を聞いて、大変参考になった。
- ・ 色々な公募委員とお話できて、良かった。

改善した方が良い点

- ・ やはりリアルな場で集まりたい。
- ・ 事前に参加者の属性(所属や名前など)が分かると良かった。
- ・ 事前に会議の主旨等の連絡が欲しかった。
- ・ 何を話したら良いのか、どんな話を求められているのか疑問だった。